

# 島根県の経済動向

平成23年 1月28日

政策企画局統計調査課

平成22年11月分

先月からの主要変更点 なし

	11月分	10月分
総括判断	<p>本県経済は、持ち直しの動きがみられる一方で弱い動きもあり、全体としては横ばい傾向にある。</p> <p>生産活動は横ばい圏内ながらやや弱い動きとなっている。雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きが続き、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いている。投資動向は下げ止まっている。</p>	<p>本県経済は、持ち直しの動きがみられる一方で弱い動きもあり、全体としては横ばい傾向にある。</p> <p>生産活動は横ばい圏内ながらやや弱い動きとなっている。雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きが続き、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いている。投資動向は下げ止まっている。</p>
個別項目		

# 島根県の経済動向

平成23年 1月28日  
政策企画局統計調査課

平成22年11月分

一本県経済は、持ち直しの動きがみられる一方で弱い動きもあり、  
全体としては横ばい傾向にある。一

生産活動は横ばい圏内ながらやや弱い動きとなっている。雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きが続き、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いている。投資動向は下げ止まっている。

生産活動	⇒	～横ばい圏内ながらやや弱い動き～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は90.7となり、前年同月比は10.8%と13か月連続で前年を上回った。また、大口電力需要実績も7.2%と12か月連続で前年を上回った。しかし、いずれも前年比プラス幅は縮小傾向が続き、生産活動は、横ばい圏内ながらやや弱い動きとなっている。
雇用情勢	⇒	～厳しい状況のなか持ち直しの動き～	有効求人倍率は0.79倍と上昇を続け、新規求人数は12.7%と4か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は4か月連続で前年を上回り、きまって支給する給与は13か月連続で、所定外労働時間（製造業）は12か月連続で前年を上回った。雇用情勢は、厳しい状況のなか持ち直しの動きが続いている。
個人消費	⇒	～一部に持ち直しの動き～	大型小売店販売額は0.7%と23か月振りに前年を上回り、家電量販店販売額は84.0%と5か月連続でプラスとなった。乗用車新車登録台数はエコカー補助金制度終了の反動で▲31.1%と3か月連続で前年を下回るなど弱い動きもみられるが、個人消費は一部に持ち直しの動きが続いている。
投資動向	⇒	～下げ止まっている～	建築着工床面積（非居住用）は119.0%と6か月連続で前年を上回った。公共工事請負金額は▲28.5%と3か月連続で前年を下回り、新設住宅着工戸数は▲54.8%と2か月振りに前年を下回った。投資動向は、下げ止まっている。
企業倒産	⇒	～倒産件数3件～	企業倒産件数は3件。うち建設業は3件、製造業は0件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年0.4%増～	銀行預金残高は29か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は3か月連続で前年を上回った。
物 価	⇒	～対前年0.7%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.2となり、対前年同月比▲0.7%と21か月連続の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成23年1月28日公表）		CI先行指数は71.6となり、4か月連続の下降となった。 CI一致指数は103.6となり、3か月振りの下降となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成22年12月10日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（22年10～12月期）は5.7%ポイントと前期に比べ「上昇」超幅が縮小している。 〔先行きについては、翌期（23年1～3月期）に「下降」超に転じ、翌々期（4～6月期）も「下降」超で推移する見通しとなっている。〕

経 済 指 標	前年同月比（*を除く）%						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	98.3	94.1	92.0	93.0	91.6	90.7
	〃（原指数）	29.4	15.1	17.8	15.0	9.1	10.8
	大口電力需要実績	23.2	21.0	17.3	17.4	10.9	7.2
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.68	0.66	0.70	0.75	0.78	0.79
	新規求人数	4.2	▲9.0	23.4	24.1	0.1	12.7
	常用労働者数	0.7	0.1	0.6	0.6	0.6	0.3
	現金給与総額	9.5	▲5.5	3.4	3.1	4.6	7.4
	きまって支給する給与	2.9	3.2	3.7	3.6	4.4	3.8
	所定外労働時間（製造業）	62.6	43.1	33.0	36.1	20.3	10.2
個人消費	大型小売店販売額	▲2.1	▲2.3	▲2.2	▲1.2	▲0.9	0.7
	ホームセンター販売額	▲1.5	7.4	▲3.3	▲4.8	▲0.3	▲1.0
	家電量販店販売額	▲2.6	9.9	25.1	20.1	33.8	84.0
	乗用車新車登録台数	11.1	10.1	40.2	▲9.2	▲30.2	▲31.1
	出雲空港利用者数	2.9	▲2.3	8.0	2.5	▲1.9	2.0
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	241.9	76.4	52.5	147.2	43.0	119.0
	公共工事請負金額	49.3	75.6	7.9	▲10.6	▲2.7	▲28.5
	新設住宅着工戸数	▲26.0	30.1	21.3	▲10.0	56.1	▲54.8
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	5	5	3	3	4	3
	* 負債総額（百万円）	707	551	296	380	321	760
金融情勢	銀行預金残高	5.1	5.2	3.7	2.8	2.9	1.6
	銀行貸出金残高	▲0.2	▲1.0	▲0.5	0.2	0.4	0.4
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.2	99.9	99.9	100.0	100.4	100.2
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	99.0	99.4	92.6	90.8	77.9	71.6
	* 景気動向指数（CI一致指数）	111.5	102.7	100.2	101.8	107.1	103.6

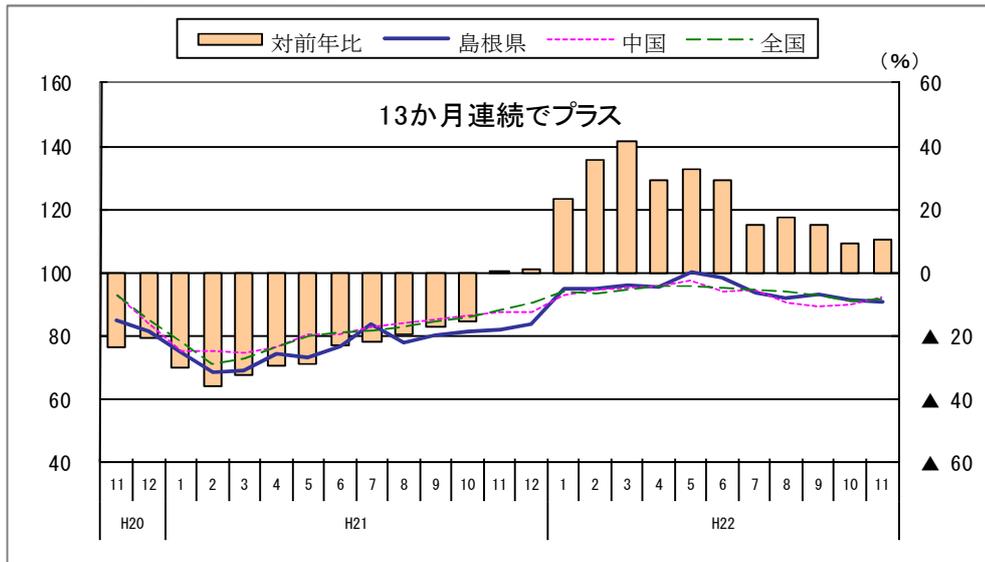
# 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	<p>「月例経済報告（内閣府）」 平成23年1月21日</p> <p>景気は、足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出は、緩やかに減少している。生産は、下げ止まりの兆しがみられる。</li> <li>・ 企業収益は、改善している。設備投資は、持ち直している。</li> <li>・ 企業の業況判断は、慎重さがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、依然として厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・ 個人消費は、持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる。</li> <li>・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。</li> </ul> <p>先行きについては、当面は弱さが残るとみられるものの、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待される。一方、海外景気の不振懸念や為替レートの変動などにより、景気がさらに下押しされるリスクが存在する。また、デフレの影響や、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>
	<p>「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成23年1月20日</p> <p>中国地域の景気は、雇用は厳しい状況ながら持ち直しの動き、設備投資や個人消費は持ち直し基調で推移しているものの、生産は横ばいで推移しており、景況感はこのところ停滞しているなど、総じてみると、やや弱含みとなっています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産動向…生産は横ばい傾向</li> <li>2. 景況感…このところ停滞している</li> <li>3. 産業用電力需要…横ばい傾向</li> <li>4. 物価…消費者物価指数は下落傾向</li> <li>5. 個人消費…緩やかながら持ち直しの動き</li> <li>6. 設備投資…持ち直しの兆し</li> <li>7. 建設動向…公共工事・住宅建設ともに減少</li> <li>8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き</li> <li>9. 企業倒産…減少傾向</li> <li>10. 貿易…緩やかながら持ち直しの動き</li> </ol>
山 陰 地 方	<p>「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2010年12月28日</p> <p>山陰両県の景気は、回復のテンポが鈍っている。すなわち、生産は、水準が幾分低下しているが、底堅い動きとなっている。個人消費は、観光関連が好調に推移しているものの、一部に弱い動きがみられる。また、設備投資が持ち直しつつあるほか、住宅投資は持家を中心に下げ止まっている。一方、公共投資は減少している。この間、雇用・所得情勢は、厳しさが幾分和らいできている。こうした中、企業の業況感横這い圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産は、水準が幾分低下しているが、底堅い動きとなっている。</li> <li>・ 個人消費は、観光関連が好調に推移しているものの、一部に弱い動きがみられる。</li> <li>・ 設備投資は、持ち直しつつある。</li> <li>・ 公共投資は、減少している。</li> <li>・ 住宅投資は、持家を中心に下げ止まっている。</li> <li>・ 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にあるが、その厳しさは幾分和らいできている。</li> </ul>
	<p>「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2010年12月28日</p> <p>当地の景気は、設備投資、住宅建設は底打ちの兆しがうかがえる。一方、生産に減速の兆しがみられ、また、個人消費は低調な推移となっており、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、足元でやや弱含みとなっている。</li> <li>・ 設備投資は、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観12月）。</li> <li>・ 住宅建設は、低調な水準ながら、底打ち感がうかがえる。</li> <li>・ 個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、低調な推移であり、また、先行きも不透明感が増している。</li> <li>・ 生産は、減速の兆しがみられる。</li> <li>・ 雇用情勢は、水準を切り上げつつある。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元、製造業では悪化したものの、非製造業では改善したことから、全産業では横ばい圏内の動きとなった（▲7→▲6）。先行き（11年3月）については、製造業、非製造業ともに悪化を予想しており、全産業でも悪化（▲6→▲21）の見通し（日銀短観12月）。</li> </ul>
島 根 県	<p>「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成23年1月26日（四半期ごとに公表）</p> <p>厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。雇用情勢で緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている。一方、個人消費で一部に弱い動きがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いているほか、生産活動で一部に操業度引き下げの動きがみられるが、おおむね横ばいとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている</li> <li>・ 生産活動 一部に操業度引き下げの動きがみられるが、おおむね横ばいとなっている</li> <li>・ 雇用情勢 緩やかな持ち直しの動きがみられるが、厳しい状況が続いている</li> <li>・ 公共事業 前年度を上回っている</li> <li>・ 設備投資 22年度は増加見込み</li> <li>・ 企業収益 22年度は増益見込み</li> </ul>

# 経済指標の推移

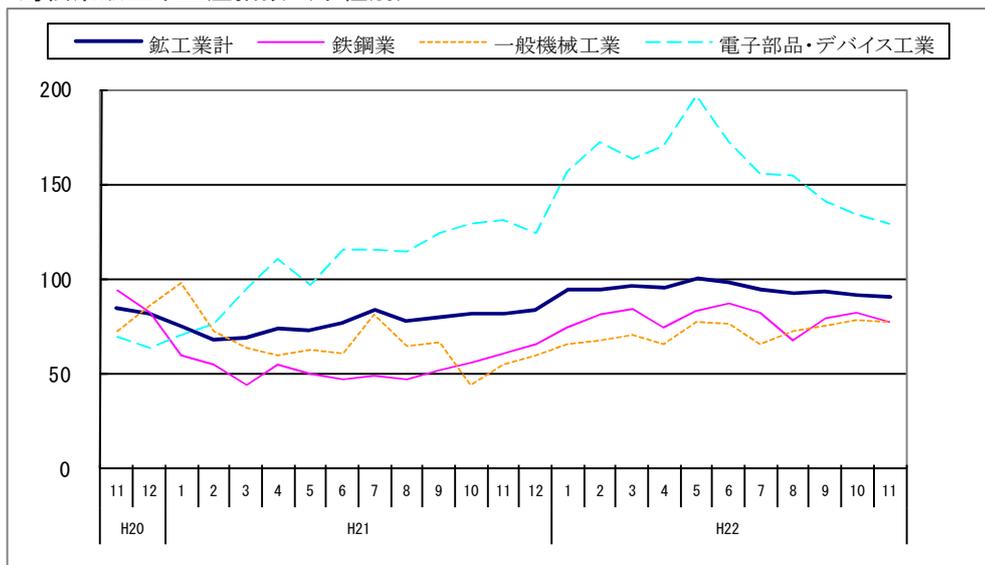
## 【生産活動】 ～横ばい圏内ながらやや弱い動き～

鉱工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



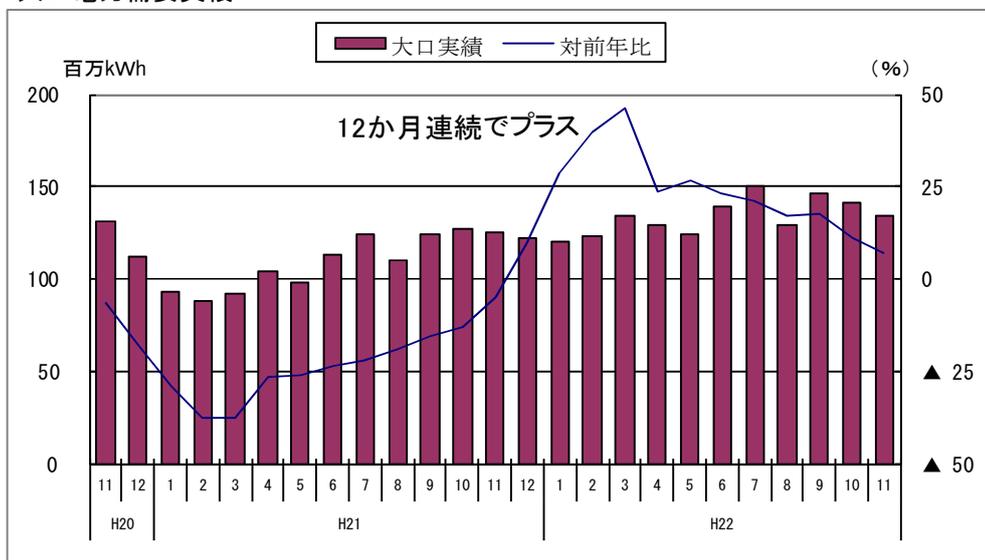
(注) 対前年比は、島根県の実指数 (県統計調査課、経済産業省)

島根県鉱工業生産指数（業種別）



(県統計調査課)

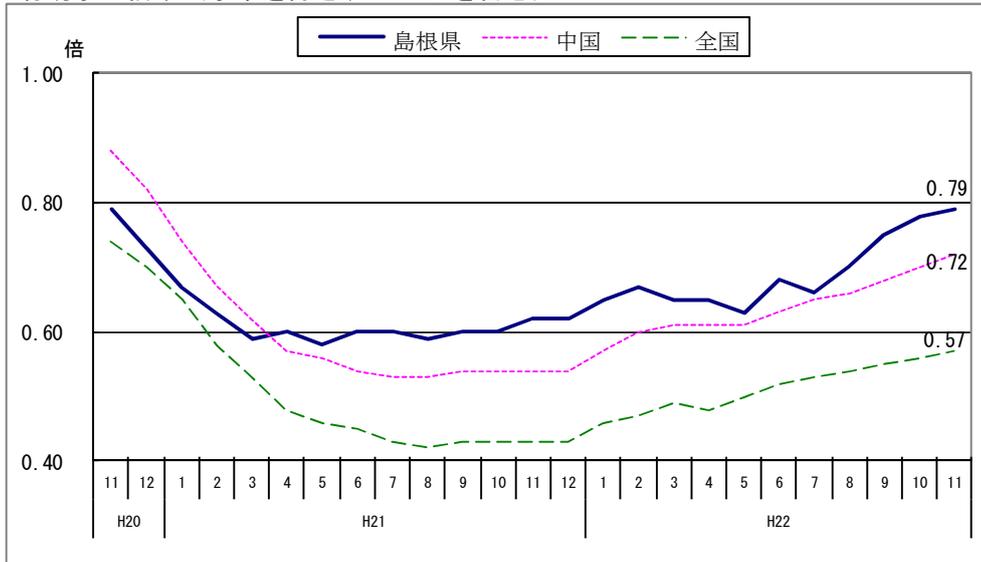
大口電力需要実績



(中国電力株)

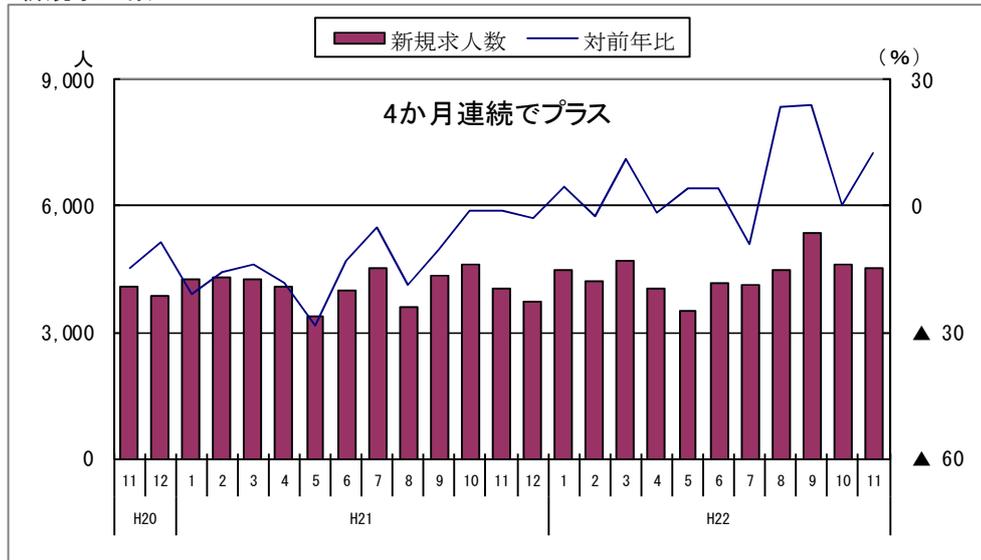
【雇用情勢】 ～厳しい状況のなか持ち直しの動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



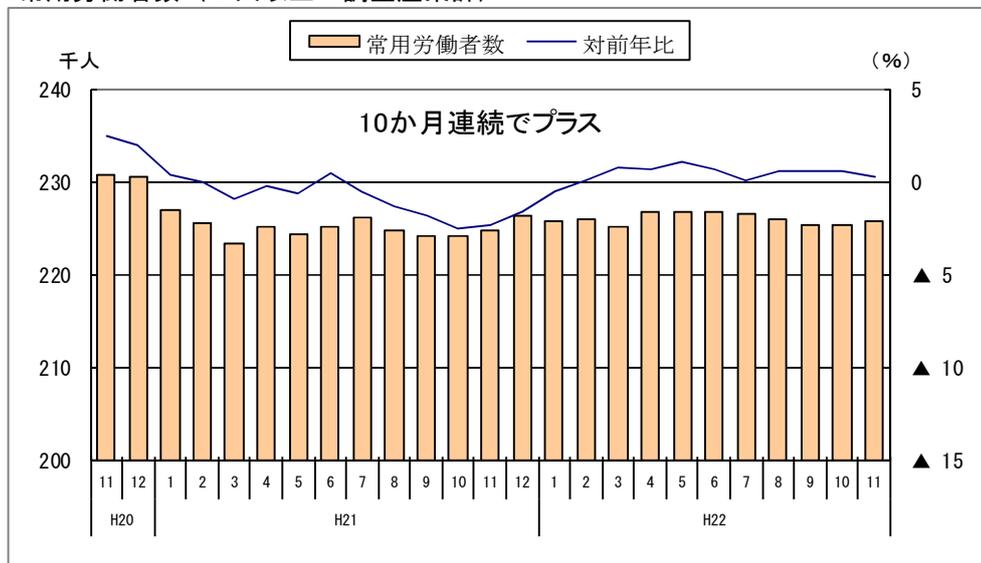
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

常用労働者数（5人以上・調査産業計）

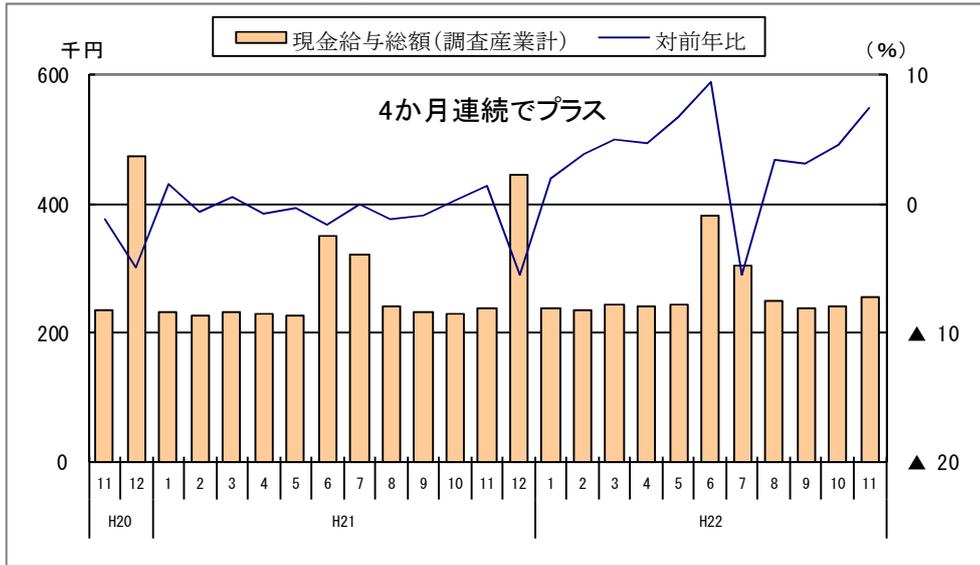


(県統計調査課)

## 【雇用情勢】

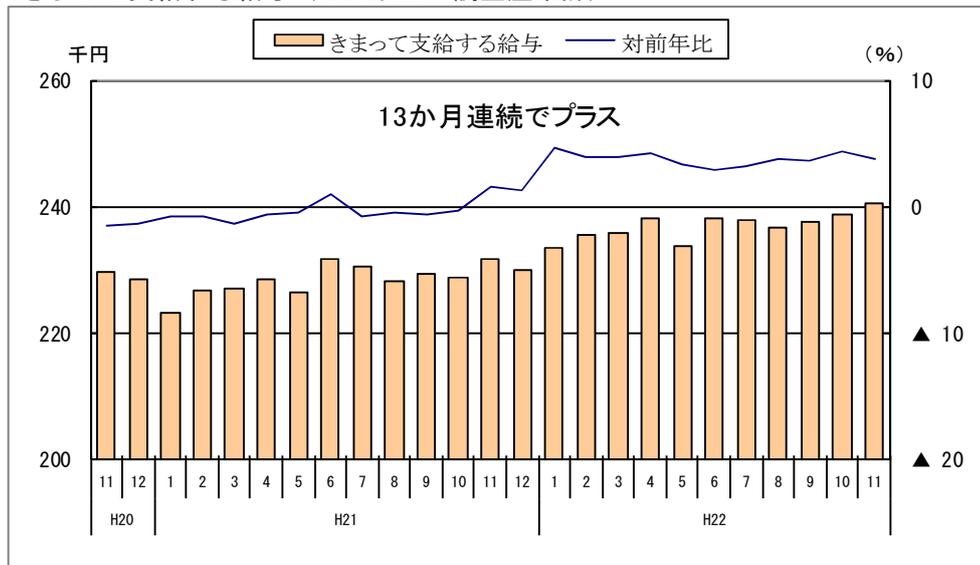
～厳しい状況のなか持ち直しの動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



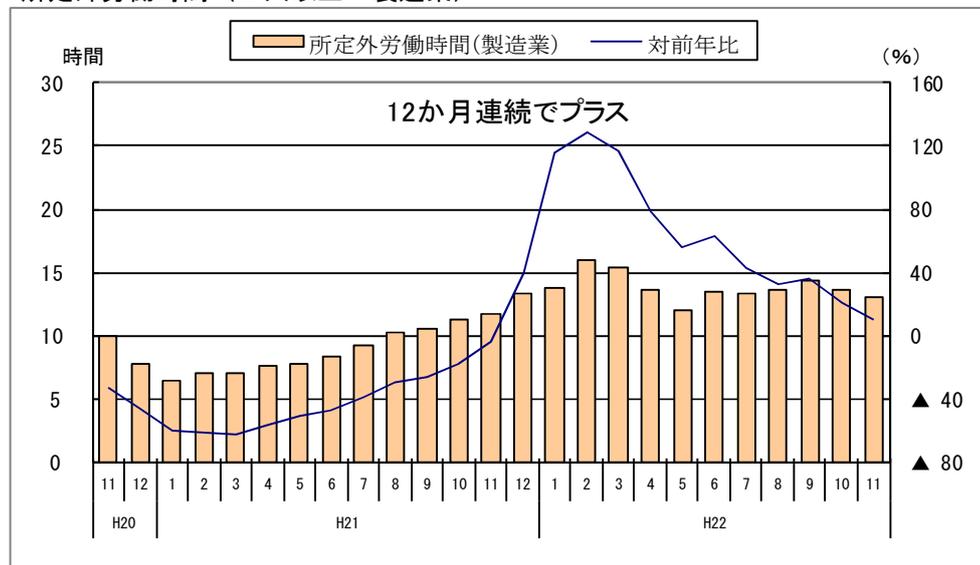
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

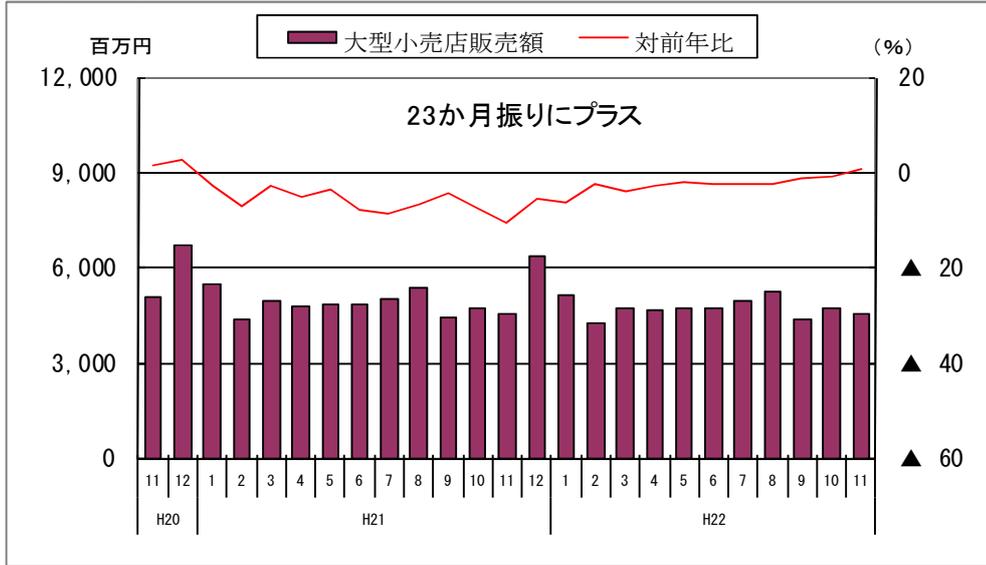
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

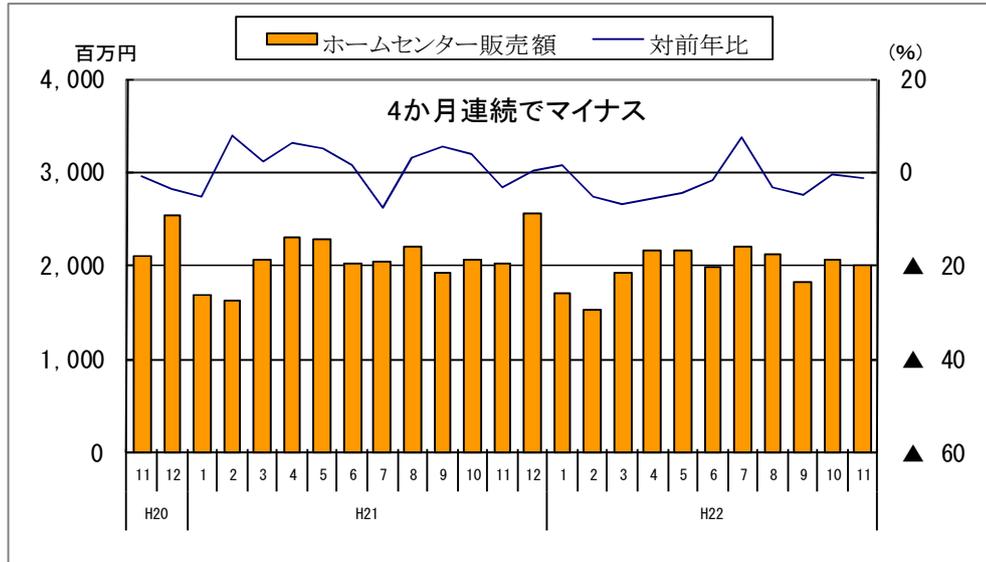
【 個人消費 】 ～一部に持ち直しの動き～

大型小売店販売額



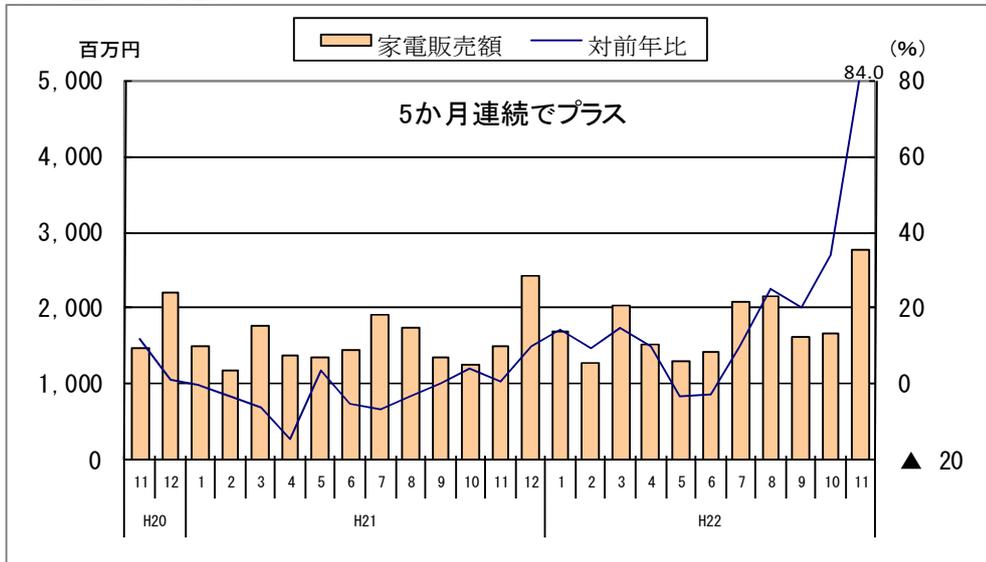
(中国経済産業局)

ホームセンター販売額



(中国経済産業局)

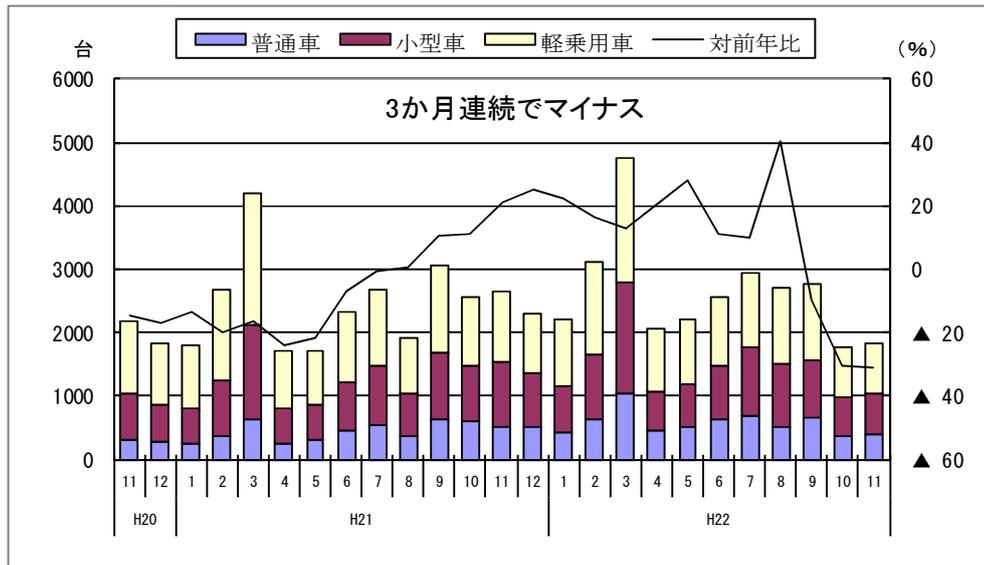
家電量販店販売額



(中国経済産業局)

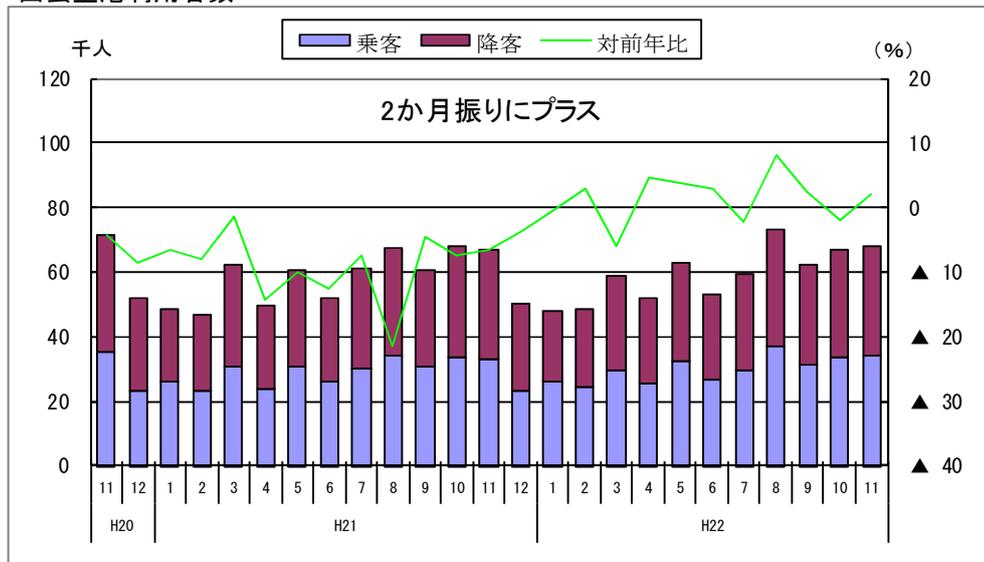
【 個人消費 】 ～一部に持ち直しの動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

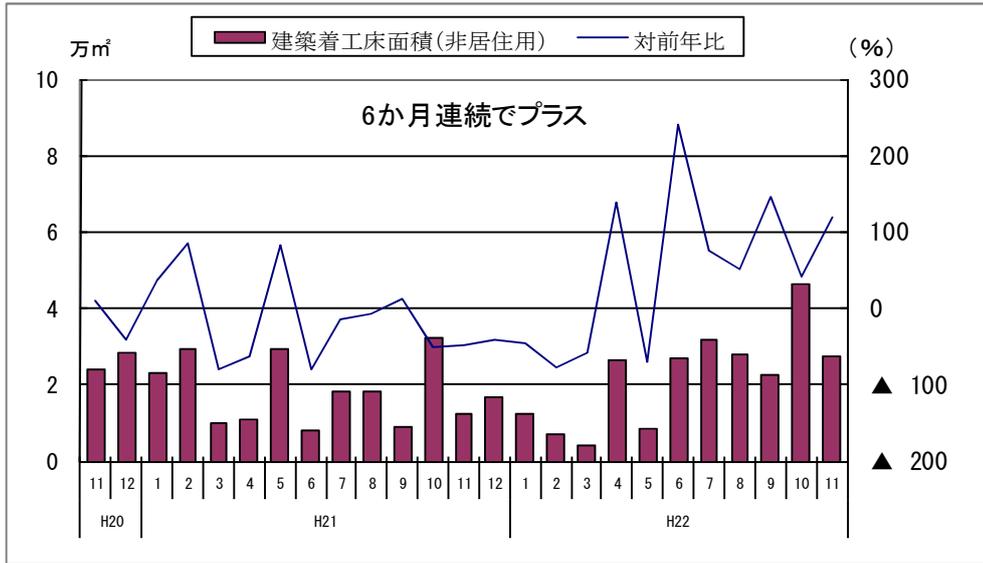
出雲空港利用者数



(県港湾空港課)

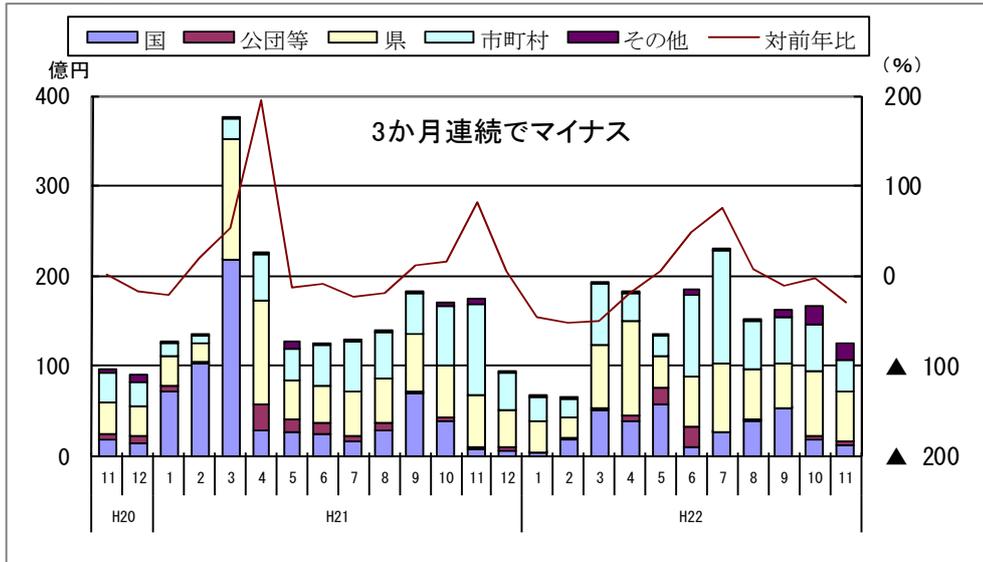
【 投資動向 】 ～下げ止まっている～

建築着工床面積（非居住用）



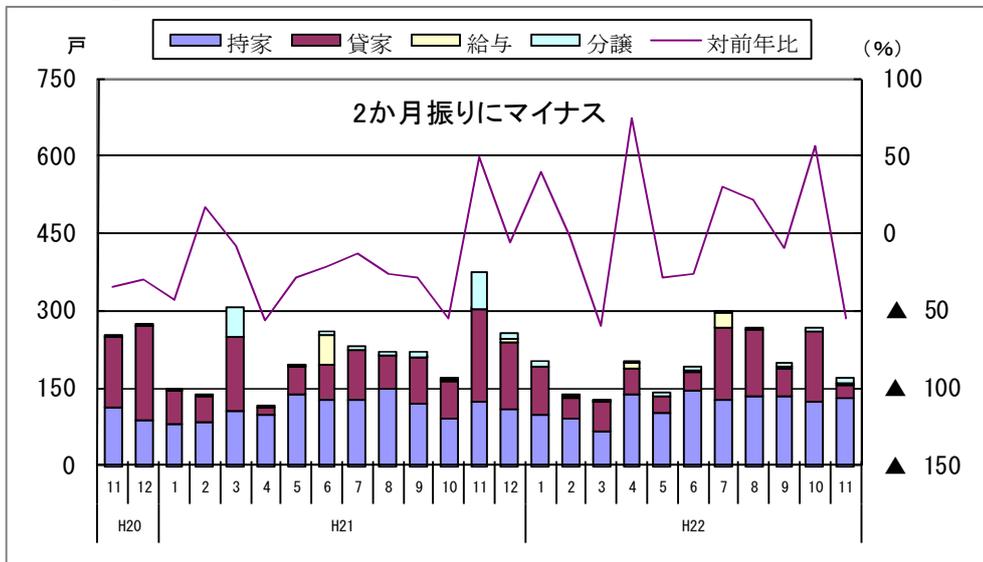
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

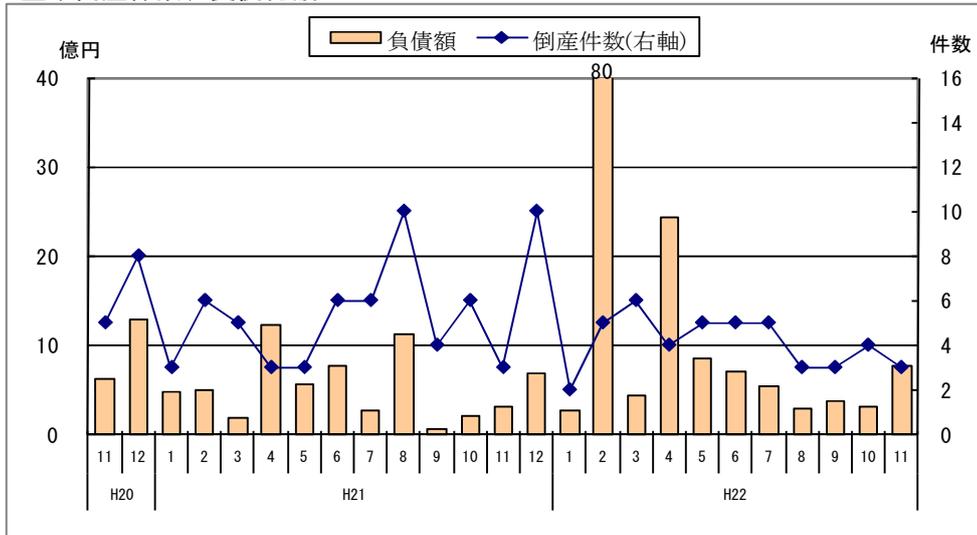
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数3件～

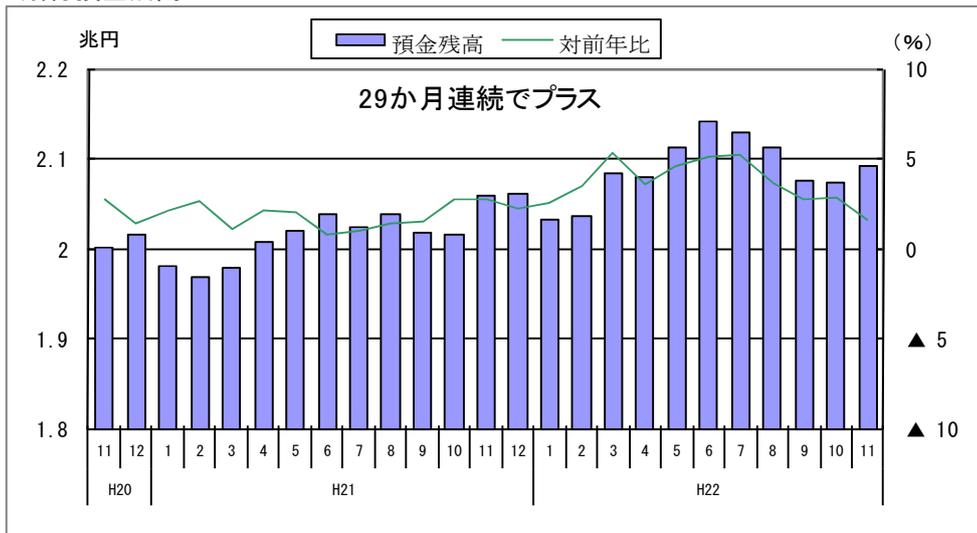
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

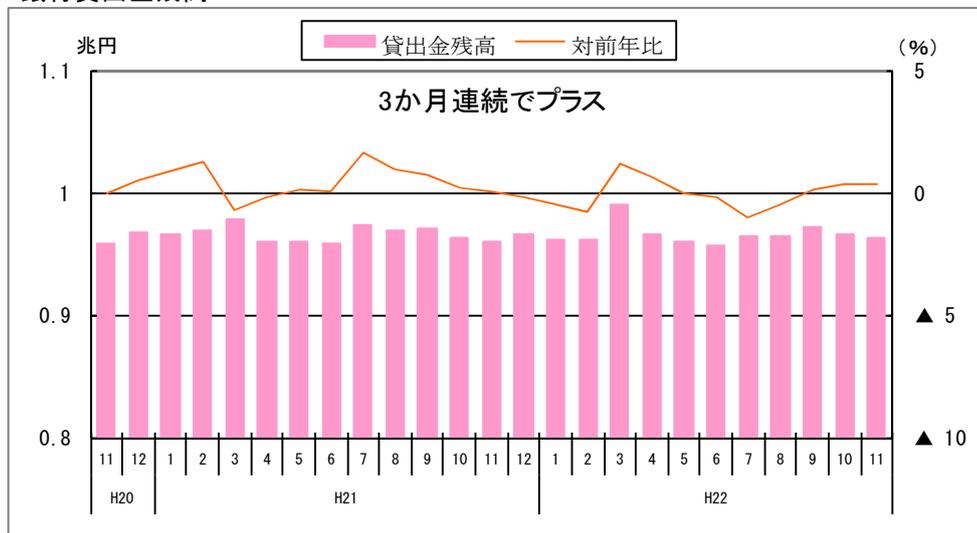
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年0.4%増～

銀行預金残高



(日本銀行)

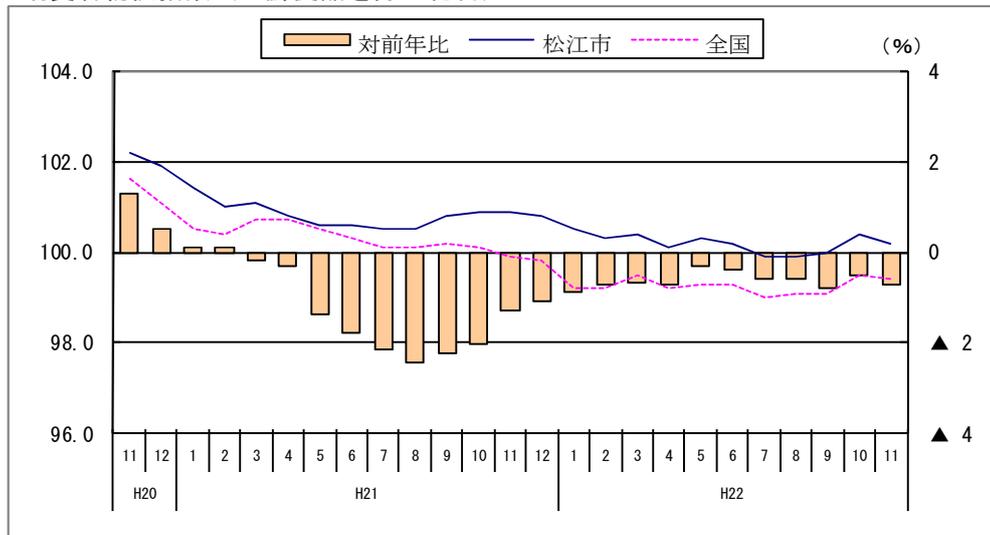
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.7%下落～

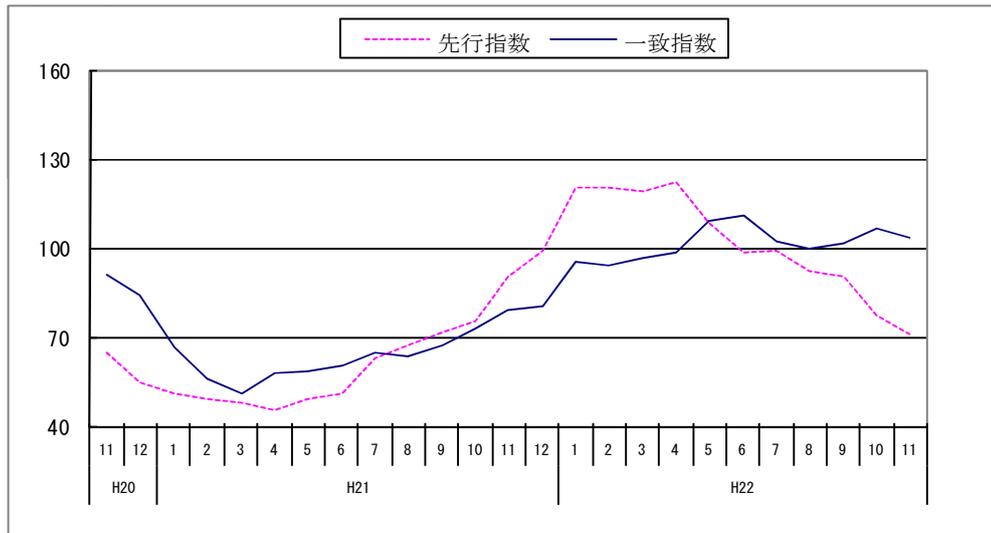
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成22年12月10日 財務省松江財務事務所)  
平成22年 10～12 月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	22年7～9月 前回調査	22年10～12月 今回調査	23年1～3月 見 通 し	23年4～6月 見 通 し
全 産 業	10.4	( ▲4.7) 5.7	( ▲14.2) ▲ 21.0	▲ 9.5
製 造 業	47.1	( 14.7) 17.6	( ▲2.9) ▲ 11.8	2.9
非製造業	▲ 6.9	( ▲13.9) 0.0	( ▲19.4) ▲ 25.4	▲ 15.5
大 企 業	0.0	( ▲25.0) ▲ 50.0	( ▲12.5) ▲ 25.0	▲ 12.5
中堅企業	0.0	( ▲2.7) 5.4	( ▲21.6) ▲ 29.7	▲ 2.7
中小企業	18.0	( ▲3.3) 13.3	( ▲9.8) ▲ 15.0	▲ 13.3

※ ( ) 書きは、前回 (22年7～9月期) 調査時の見通し。